

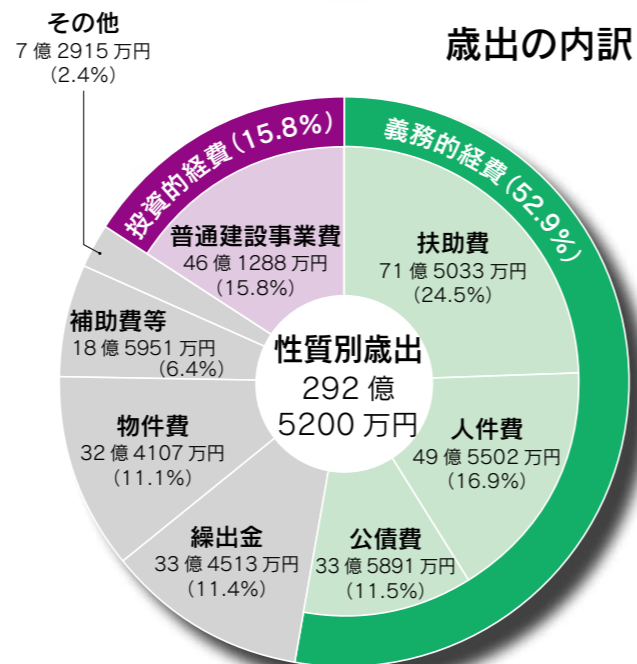
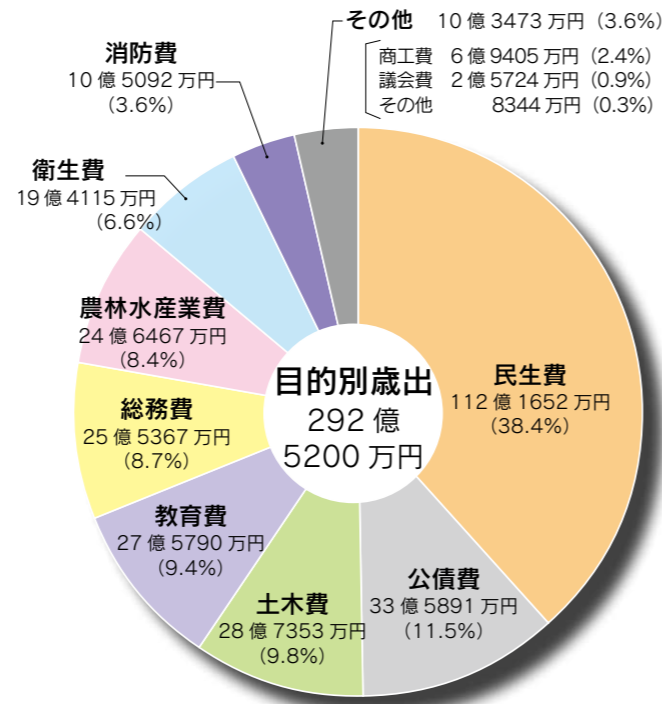
■財政用語解説

一般会計	総務費・民生費・土木費など、市の基本的な行政運営に必要な経費を計上した会計
特別会計	特定の事業を行うため、一般会計と区別して処理する会計

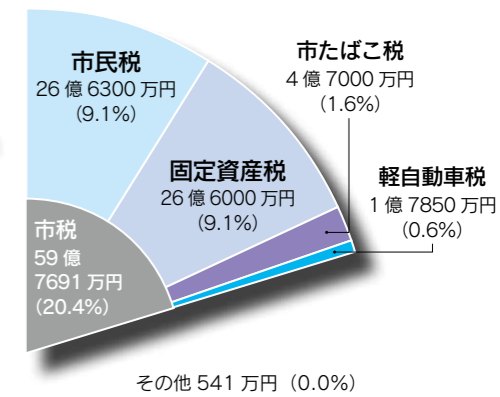
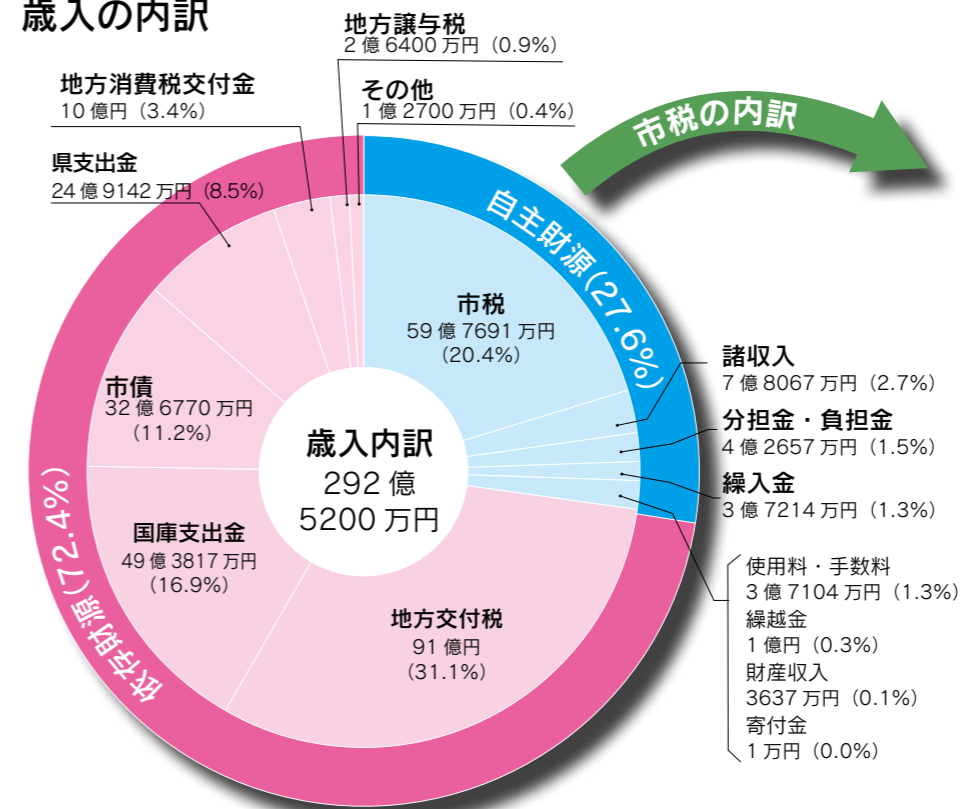
歳入	
自主財源	市税や諸収入など、市が自力で集めるお金
依存財源	国や県の意思により、定められた額を交付されたり割り当てられたりして入るお金
地方交付税	標準的な行政運営に必要な経費を補うために国から交付されるお金
国県支出金	事業など特定の目的の費用として、国や県から交付されるお金
市債	大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金

歳出（目的別）	
議会費	議員報酬や、議会を運営するお金
総務費	課税徴収、市民窓口、選挙などのお金
民生費	高齢者、障害者、子育て、生活保護などのお金
衛生費	健康診断・予防接種・ごみ処理などのお金
農林水産業費	農業振興・水産業振興などのお金
商工費	商工業の育成・観光事業の発展などのお金
土木費	道路整備・住宅整備・区画整理などのお金
消防費	消防活動・消防施設の整備などのお金
教育費	学校・生涯学習施設・文化事業などのお金
公債費	市債の返済のためのお金

歳出（性質別）	
人件費	職員給与、議員報酬など人にかかるお金
公債費	市債の償還や利子の支払いにかかるお金
扶助費	生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令により、被扶助者に支給するお金
物件費	市が行う行政サービスの中で効果が短期間のものや、旅費・需用費・役務費などのような消費的性質のお金
普通建設事業費	道路、水路、学校などの公共施設の整備などのお金
繰出金	一般会計と特別会計など会計相互間で支出されるお金
義務的経費	経常的に支出が義務づけられ、任意に削減することができないお金



歳入の内訳



市民1人当たりの市税額は
8万6098円

内訳は、固定資産税3万8318円、市民税3万8361円、市たばこ税6770円、軽自動車税2571円、その他78円です。

※27年2月28日現在の人口、6万9420人で算出



平成27年度一般会計予算
292億5200万円を計上

- ▼人件費 49億5502万円
- 再任用職員人件費、職員共済組合負担金が増加したことなどにより8548万円増
- ▼扶助費 71億5033万円
- 認定こども園運営等事業費を新たに計上したことなどにより、6830万円増
- ▼義務的経費 1154億6426万円
- 1億2405万円増
- ▼補助費等 18億5951万円
- 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の給付額の減などにより、2億1746万円減
- ▼繰出金 33億4513万円
- 介護保険広域連合繰出金、国民健康保険基金安定制度負担金の増加などにより、1億2037万円増

- 有明地区ノリ共同加工施設整備事業補助金を新たに計上したことなどから、前年度より5億6782万円増
- ▼土木費 28億7353万円
- 柳川駅東部土地区画整理事業費や市営住宅東宮永団地（仮称）建設事業費が増加したことなどから、前年度より2億1705万円増
- ▼教育費 27億5790万円
- 小中学校空調設置事業費を新たに計上したことや、小中学校体育館吊り天井改修事業費の増加などの増加要因があったものの、二ッ河・中山小学校の校舍改築事業などが終了したことなど、7億8052万円減

- ▼歳入：1年間に市に入るお金
- ▼市税 59億7691万円
- 平成26年度の収納見込み、税法の改正、固定資産税に係る評価替えなどを勘案し、前年度より1億3882万円減
- ▼地方交付税 91億円
- ▼繰入金 3億7214万円
- 柳川・大和・三橋の各地域振興基金が合併10年目となる平成26年度までに全て活用することになっていったことなどから、前年度より7億1539万円減
- ▼市債 32億6770万円
- 前年度より1億6490万円増。このうち、合併した市町村に限り特例として認められる合併特例事業債は、17億4250万円
- ▼農林水産業費 24億6467万円

- 平成27年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決、成立しました。「定住施策の推進」「地域資源活用策の充実」「市民や子どもたちの安全安心の確保」などを念頭に予算編成し、予算総額は歳入、歳出いずれも292億5200万円。前年度当初予算に比べて6000万円、率にして0.2%の減額となりました。
- 【問】市財政課（☎77・8432）

予算を「家計」に例えると

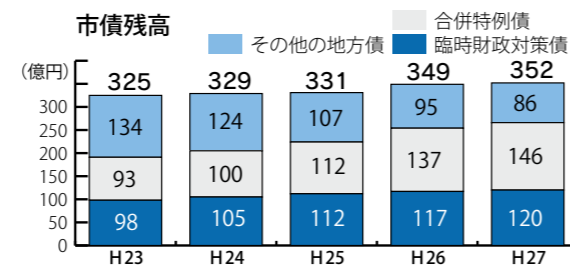
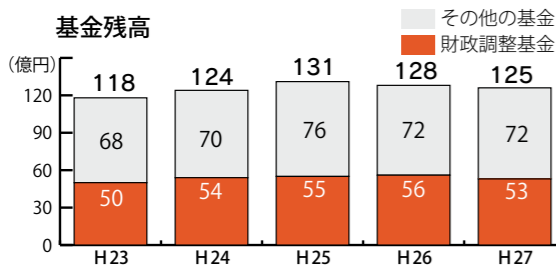
市の予算と家計では、お金の使い道が違うため単純に比べられませんが、予算額を10万分の1の29万3000円として、1か月の家計簿に置き換えてみました。

●収入（市予算項目）		29万3000円
・給与		
基本給（市税、使用料など）	7万2000円	
諸手当（地方交付税など）	9万5000円	
・親からの仕送り（国県補助金など）	8万8000円	
・銀行からの借入（市債）	3万3000円	
・預金の取り崩し（繰入金）	4000円	
・前年度の残金（繰越金）	1000円	



●支出（市予算項目）		29万3000円
・食費（人件費）	5万円	
・医療費、保育料など（扶助費）	7万2000円	
・水道光熱費、日用品購入費用（物件費）	3万2000円	
・家や車などの修理、電気製品などの購入費用（維持補修費、投資的経費）	4万8000円	
・家族への仕送り、自治会費など（繰出金、補助費等）	5万2000円	
・借入金の返済（公債費）	3万4000円	
・友達に貸すお金（貸付金）	4000円	
・雑費（その他）	1000円	

基金・市債残高の推移（一般会計）



※ H26、27 は見込額

特別会計の27年度予算

特別会計は特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には5つの特別会計と水道事業会計があります。それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1万円未満四捨五入）は次のとおりです。

■国民健康保険特別会計 106億6700万円

国民健康保険特別会計は、自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計です。主な歳入は、国民健康保険税17億6348万円、国庫支出金26億4909万円。主な歳出は、医療、出産育児一時金などの保険給付費63億270万円、後期高齢者支援金等10億5027万円、共同事業拠出金26億1671万円です。

■後期高齢者医療特別会計 10億100万円

75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県内の全市町村で運営している県後期高齢者医療広域連合で行っています。主な歳入は、保険料6億5829万円、一般会計からの繰入金3億3666万円です。主な歳出は、同連合に支払う納付金9億7143万円です。

■下水道事業特別会計 11億1790万円

主な歳入は、利用者からの使用料1億5600万円、一般会計からの繰入金5億500万円、市債2億5040万円。主な歳出は、事業費や維持管理費を含む下水道費5億8151万円、公債費4億9874万円です。

■住宅新築資金等特別会計 66万円

住宅新築資金等の貸付事業はすでに終了しているため、現在は貸付金を回収するための事務や、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を行っています。

■公共用地先行取得等特別会計 0.5万円

公共用地先行取得等特別会計は、公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計です。活用に備えて歳入、歳出とも5000円だけを計上する、科目開設のための予算です。

■水道事業会計（企業会計）

収益的収入13億9166万円、支出13億6749万円

資本的収入2億7880万円、支出6億8930万円

水道事業会計は、収益的収入および支出と資本的収入および支出の2通りの予算が組まれます。収益的収入の主なものは水道料金12億3172万円で、支出の主なものは県南水道企業団から水を買うための費用4億9674万円および人件費9432万円です。資本的収入の主なものは、事業を行うために借り入れる企業債1億7850万円で、支出の主なものは配水管の布設替えに要する工事費など4億7023万円および企業債の償還金2億588万円です。

平成27年度の主な事業

※太字は新規事業

■産業の振興

▷活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金1億1345万円▷農地・水保全対策事業費1億2764万円▷漁港機能保全事業費9250万円▷中島漁港漁業団地整備費9586万円▷**市内全域ポイント事業費1110万円**▷中小企業者等融資預託金4億円

■教育・福祉の充実

▷小中学校体育館吊り天井改修事業費2億290万円▷小中学校空調設置事業費3億7290万円▷小中学校防犯カメラシステム整備事業費366万円▷国際シンポジウム・特別展等開催事業費350万円▷生活保護費（扶助費）16億8000万円▷自立支援給付費（介護給付費など）11億8774万円▷認定こども園運営等事業費1億2931万円▷学童保育事業費8410万円

■社会基盤の整備

▷高橋中牟田線道路整備事業費1億1360万円▷塩塚川高潮対策番所橋架替事業費1億829万円▷公共下水道繰出金5億500万円▷柳川駅東部土地区画整理事業費6億614万円▷東宮永団地（仮称）建設事業費6億2140万円▷密集住宅市街地整備事業費7071万円

■健康づくり・生活環境の保全

▷妊婦健康診査事業費4826万円▷予防接種事業費1億8102万円▷柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事業費1億6487万円▷クリーンセンター維持補修工事費1億4000万円▷大川柳川衛生組合負担金1億4180万円

■その他

▷ふるさと寄付金推進費2405万円▷コンビニ収納事務費240万円▷個人番号カード交付事業費2524万円▷“おもてなし柳川”市民会議負担金430万円▷デジタル無線受令機購入費1783万円▷消防自動車購入費1300万円



市で初めてとなる認定こども園（ふたば幼稚園）



吊り天井式の小中学校体育館は落下防止のための工事を行う（写真：大和中学校）



子どもたちの安全を守るため、小中学校の玄関などに防犯カメラ（左）を設置。下は職員室にあるモニター



市内小中学校には学習環境の向上のため冷暖房設備を設置（写真：ニッ河小学校）



中島漁港の漁業団地では利用者の増加のため、物揚場を約50m延長し対応する（工事は28年度の予定）



東宮永団地（仮称）の建設地（佃町）。本町と鳥の水団地の老朽化に伴い建て替えを行うもので、60戸を整備予定